

3 世界農業遺産を契機とした農村振興

論点 I 農村にどのように交流人口を呼び込むのか。

1. 現状

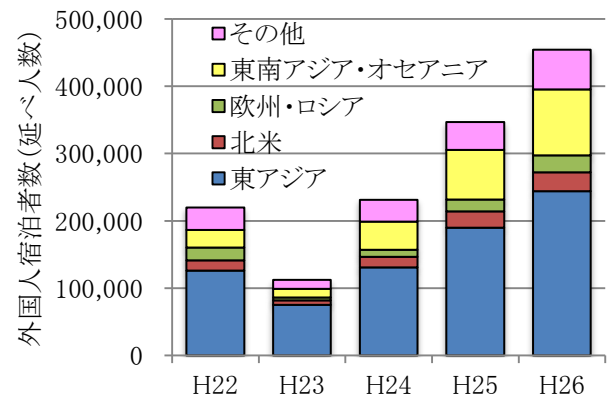
【表 1】余暇活動の参加人口の推移

	H15	H20	H25
1位	外食	外食	国内観光旅行
2位	国内観光旅行	国内観光旅行	ドライブ
3位	ドライブ	ドライブ	外食
4位	ビデオ鑑賞	宝くじ	映画
5位	カラオケ	パソコン	複合SC等
6位	宝くじ	カラオケ	動植物園等
7位	音楽鑑賞	ビデオ鑑賞	カラオケ
8位	パソコン	映画	宝くじ
9位	映画	動植物園等	ビデオ鑑賞
10位	動植物園等	音楽鑑賞	ウォーキング

((公財) 日本生産性本部・レジャー白書)

- ◆余暇の過ごし方では、国内観光旅行の人気の高まっている。

【図 1】県内の外国人宿泊者数の推移

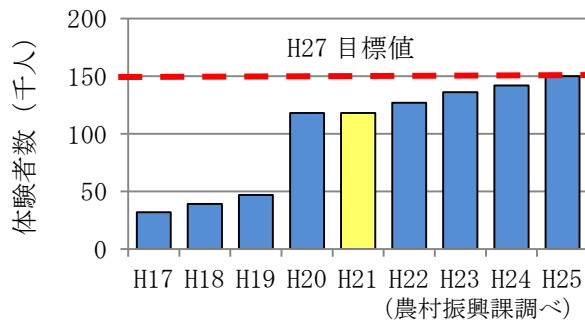


(宿泊旅行統計調査 ※H22に調査方法見直し)

- ◆東アジアや東南アジアの宿泊者が増加。

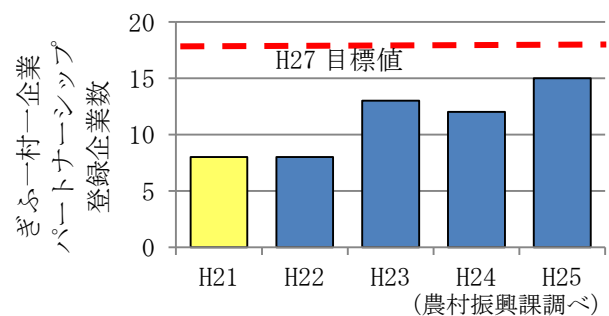
2. 現計画における取組状況

【図 2】グリーン・ツーリズムの推進



- ◆農林漁業体験者数は、情報発信の強化に伴い増加している(達成率 100%)。

【図 3】農村と企業との交流・協働の促進



- ◆農村と企業が連携し協働活動を行う取組みが拡大している(達成率 70%)。

3. 課題

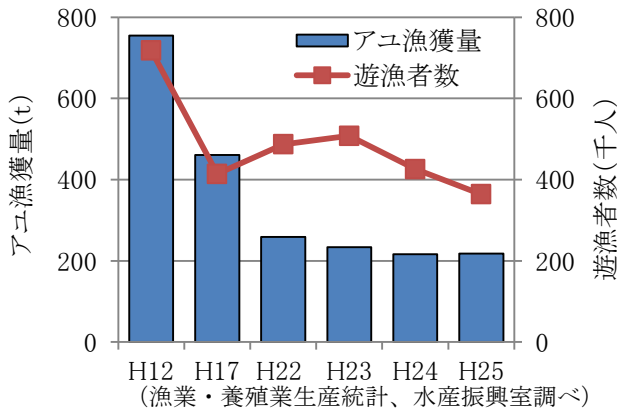
○他県とは異なる岐阜県の農村の魅力＝「岐阜らしさ」は何かを明確にし、情報発信を行う必要がある。

- ・都市住民等が「岐阜県の農村」に求めることは何か
- ・誰にどのような情報を発信すればよいか
- ・多くの都市住民を受け入れ、体験の満足度を高めるためにはどうすればよいか

論点Ⅱ 清流の恵みから得る漁業の振興を通じて、どのように地域を活性化していくのか。

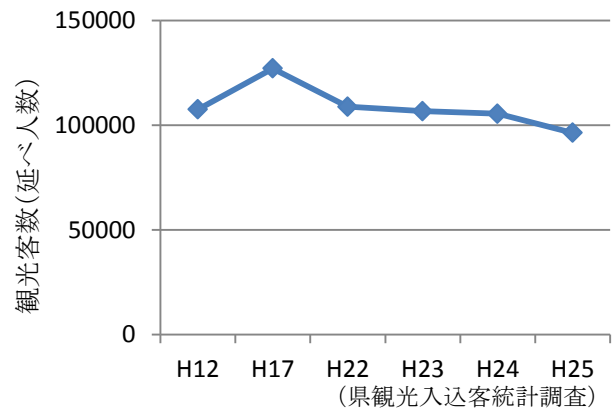
1. 現状

【図4】 県内のアユ漁獲量と遊漁者数の推移



◆アユの漁獲量は激減しており、遊漁者も減少傾向が続いている。

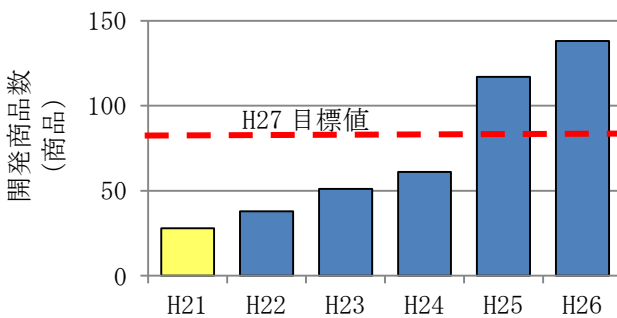
【図5】 岐阜市鶺飼の観光客数の推移



◆伝統的な文化である鶺飼の観光客数は、微減傾向にある。

2. 現計画における取組状況

【図6】 6次産業化商品の開発支援



□事例紹介

- めいのさらだ ((有)橋場農園・高山市)
 - ・自家農園産完熟トマト100%ジュース
 - ・H18: ジュース部門設立 → H25: 57千本

□水産加工品事例

- 飛騨サーモン ((株)穂高養魚場・高山市)
- 若ます甘露煮 (石井淡水・大垣市)

◆地域資源を活用した6次産業化商品の開発が進んでいる (達成率211%)。

【表2】 河川漁業の振興施設の整備

長良川あゆパーク(仮称)概要

コンセプト	清流長良川を舞台に「河川漁業を守り、活かし、伝える」鮎王国ぎふ復活の拠点
機能	①学習機能 ・鮎・長良川流域の学習 ②体験機能 ・鮎の友釣り、伝統漁法 ③情報発信機能 ・清流長良川の鮎の展示

※H25に基本構想を策定

◆清流、鮎などの地域資源を活かした漁業体験・交流施設の整備を進めている。

3. 課題

○岐阜を代表する地域資源である「清流」と「鮎」の保全と活用を、地域の活性化にどう繋げるのか。

- ・アユ資源を増やすにはどうすればよいか
- ・清流の魅力をどのように高め、PRしていけばよいか